

GeoKarteIII GPS (工場オプション) 機能について

2015.6.12

日東精工株式会社
制御システム事業部

1. GPS とは

GPS (Global Positioning System : 全地球測位システム) は、アメリカ合衆国によって、航空機・船舶等の航法支援用として開発されたシステムです。複数の GPS 衛星からの距離を同時に知ることにより、自分の位置等を決定します。GPS 衛星からの距離は、GPS 衛星から発信された電波が受信機に到達するまでに要した時間から求めます。

以下、GeoKarteIIIにおける GPS 機能についての説明をします。

2. GPS 機能の利点

制御装置 (コントローラユニット) に GPS 受信器とアンテナを取り付けることにより、貫入試験位置 (緯度、経度) を試験データに添付することができます。このことにより試験位置が明確となり、様々な位置で試験をする場合でもデータの間違いを防止できるようになります。



GPS アンテナを
取り付けた状態

3. 試験位置データの出力例

GeoKarte3 No. 123-456-489-0000-01				
15/06/12 09:20				
D	Wsw	Na	観察	Memo

0022	0.05	自沈		
0026	0.25	自沈	ハヤ	
0050	0.05	自沈		

0050			中止	
			試験終了時刻 09:22	
			Mode 3	
GeoKarte3 No. 123-456-789-0000-01				
GPS 測位情報				
経度 3518.4990N				
緯度 13514.4136E				
海拔高度 40.7M				

Gグラフ 06120920.GTD [標準データ]						
ファイル(E) データ通信(I) データ入力(D) グラフ(G)						
データ(D) オプション(O) ヘルプ(H)						
開く 保存 印刷 通信 グラフ まるめ						
試験コード 123-456-489-0000 測点番号 01 最終貫入深さ 0.50 m						
試験時間 2015年 6月 12日 09時20分~09時22分						
GPS測位 緯度 3518.5122N 経度 13514.4456E 海拔高度 33.2M						
D (m)	Wsw(kN)	Na	Nsw	観察	土質	換算N値
0.22	0.05	自沈	0.0		粘性土	0.1
0.26	0.15	自沈	0.0	ハヤ	粘性土	0.4
0.50	0.05	自沈	0.0		粘性土	0.1

Gグラフによる表示例

* 現在Gグラフの印字には対応していません。

内蔵プリンタによるプリントアウト例

4. 注意事項

- (1) GPS 機能を使用する場合はパラメータの設定が必要です。設定項目や操作方法については、GeoKarteIII取扱説明書を参照ください。
- (2) 位置データの取得には3機以上のGPS衛星からの電波が必要です。屋内や建物の間など電波の状態が悪い場合は位置データを取得できません。
- (3) 位置データの取得には数分かかります。(電波状態により時間は異なります。)
- (4) 位置データには数m~数十mの誤差を含みます。